



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料 2

グリーン／ソーシャルボンド・カンファレンスの模様について



2021年11月
日本証券業協会



1. カンファレンス 概要

ようし
10/4は
証券投資の日



本協会では、グリーンボンド市場等の動向について日本市場関係者の理解を深め、日本市場の課題等を探る機会として、国際資本市場協会（ICMA）との共催で、グリーン／ソーシャルボンド・カンファレンスを開催した。

5回目となる本年度は、**脱炭素社会への達成に向けた「脱炭素社会への移行」及び「社会的課題の解決」**に焦点を当てたカンファレンスをオンラインにより開催した。

日程	2021年11月12日（金）16時00分～18時10分（日本時間）
タイトル	いかに日本の債券市場が持続可能な社会に貢献できるか -How can Japanese capital markets contribute to a sustainable society?-
会場	ZOOMによるウェビナー
共催	国際資本市場協会（ICMA）（※）
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等 約400名（アクセス数ベース） (登録者 約600名)

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。

本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、これまでに5回、日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した

1. カンファレンス プログラム

よう
し
10/4は
証券投資の日



16:00	歓迎・開会の挨拶 日本証券業協会 会長 森田 敏夫
16:05	ゲストスピーチ 1 金融庁 長官 中島 淳一 氏 ゲストスピーチ 2 国連責任投資原則 (PRI) 最高責任投資責任者 ネイサン ファビアン 氏
16:25	パネル 1: トランジション・ファイナンスによる脱炭素化の達成に向けて -Financing climate transition to achieve carbon neutrality- モデレーター: BofA証券取締役副社長 日本証券業協会 SDGs懇談会委員 ICMA理事、 金融庁 サステナブルファイナンス有識者会議/ソーシャルボンド検討会議メンバー 林 礼子 氏 パネリスト: レプソル コーポレートファイナンスヘッド ベンチュラ ゴンザレス氏 チューリッヒ保険 責任投資ヘッド ヨハンナ コブ 氏 日本郵船 中村 勇太 氏 経済産業省 産業技術環境局環境政策課 環境経済室 室長補佐 小川 幹子 氏
17:10	基調講演 欧州委員会 資産・金融リスク管理部門 欧州連合予算総局担当 ディレクター ニール ボーハン 氏
17:20	パネル 2: ソーシャルボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンド市場の発展に向けて -Toward sound development of the social and sustainability linked bond markets- モデレーター: 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長 江夏 あかね 氏 パネリスト: ICMA グリーンボンド原則事務局 サステナブルファイナンスヘッド マネージング・ディレクター ニコラス ファフ 氏 Vigeo-Eiris (Moody's ESG ソリューション) 発行体部門 エグゼクティブディレクター ジュリエット マクレジー 氏 欧州委員会 資産・金融リスク管理部門 欧州連合予算総局担当 ディレクター ニール ボーハン 氏 芙蓉総合リース C S V 推進室長 水谷 高 氏
18:05	閉会挨拶 ICMA チーフ・エグゼクティブ ブライアン パスコー 氏
18:10	閉会

1. カンファレンス 今回のポイント

よう
10/4は
し
証券投資の日



- 本カンファレンスと同時期にCOP26（第26回気候変動枠組条約締約国会議）が英国グラスゴーで開催され、気候変動への対応に関する議論が世界的に活発に行われている中、トランジション（脱炭素社会へに移行）を達成するための資金調達として、トランジション・ボンドに対する発行体及び投資家の関心が一層高まっており、世界的にも着実な拡大を見せている。
- これらを背景に、今回のカンファレンスには、トランジション・ボンド発行体、経済産業省、機関投資家などから有識者が登壇し、トランジション・ボンド発行の過程や投資家目線での期待感について共有された。
- また、コロナ禍からも起因する様々な社会的課題の解決を図るため、民間主導により「ソーシャル」分野に必要な資金を円滑に供給することが不可欠となっている。更に昨今は、ICMA原則に沿ったサステナビリティ・リンク・ボンドの発行が急増しており、市場の注目が高まっている。
- これらを背景に、ICMA、ESG評価機関、欧州委員会、発行体から、ソーシャルボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンド市場の発展に向けた視点・取組みが共有された。
- 本カンファレンスの前月には金融庁により「ソーシャルボンドガイドライン」が策定され、本カンファレンスでは、ICMAなど海外機関より、極めて実務的で市場ベースな分かりやすい内容となっているとの評価を受けた。

1. カンファレンス 当日の様子



ICMA JSDA
International Capital Market Association Japan Securities Dealers Association

Welcome & Opening Speech

How can Japan's capital markets contribute to a sustainable society?
November 2021

Toshio Morita

歓迎・開会の挨拶 日本証券業協会
会長 森田 敏夫



ICMA JSDA
International Capital Market Association Japan Securities Dealers Association

Guest Speech I

金融庁 長官 中島 淳一
Junichi Nakajima, Commissioner, Japanese Financial Services Agency

Junichi Nakajima

ゲストスピーチ1 金融庁 中島長官
(ビデオメッセージ)

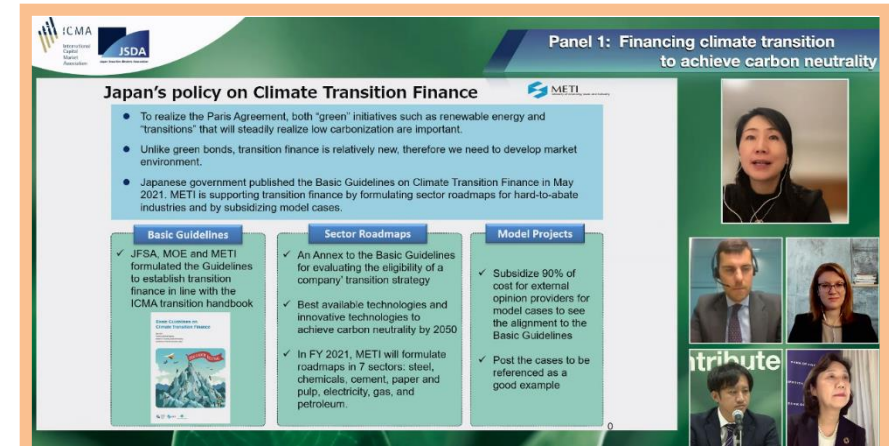


ICMA JSDA
International Capital Market Association Japan Securities Dealers Association

Guest Speech II

Nathan Fabian

ゲストスピーチ2 国連責任投資原則 (PRI)
最高責任投資責任者 ネイサン ファビアン



ICMA JSDA
International Capital Market Association Japan Securities Dealers Association

Panel 1: Financing climate transition to achieve carbon neutrality

Japan's policy on Climate Transition Finance

- To realize the Paris Agreement, both "green" initiatives such as renewable energy and "transitions" that will steadily realize low carbonization are important.
- Unlike green bonds, transition finance is relatively new, therefore we need to develop market environment.
- Japanese government published the Basic Guidelines on Climate Transition Finance in May 2021. METI is supporting transition finance by formulating sector roadmaps for hard-to-abate industries and by subsidizing model cases.

Basic Guidelines	Sector Roadmaps	Model Projects
✓ JFSA, MOE and METI formulated the Guidelines to establish transition finance in line with the ICMA transition handbook	✓ An Annex to the Basic Guidelines for evaluating the eligibility of a company's transition strategy	✓ Subsidize 90% of cost for external opinion providers for model cases to see the alignment to the Basic Guidelines
	✓ Best available technologies and innovative technologies to achieve carbon neutrality by 2050	✓ Post the cases to be referenced as a good example
	✓ In FY 2021, METI will formulate roadmaps in 7 sectors: steel, chemicals, cement, paper and pulp, electricity, gas, and petroleum.	

Panel 1

1. カンファレンス 当日の様子



ICMA JSDA – Annual Conference:
Towards the sound development of social
and sustainability linked bond markets
Recent experiences from the EU

Niall Bohan Director, Asset and Financial Risk Management, Directorate-General for the EU Budget, European Commission
November 12 2021
European Commission

Keynote Speech

Niall Bohan

基調講演 欧州委員会
ディレクター ニール ボーハン



Panel 2: Toward sound development of the social and sustainability linked bond market

contribute society
embed 202

Akane Enatsu Takashi Mizutani Niall Bohan Juliette Macresy Nicholas Pfaff

パネル 2



Closing Remarks

Bryan Pascoe

閉会挨拶 ICMA
チーフ・エグゼクティブ ブライアン パスコー



会場

1. カンファレンス 参考

ようし
10/4は
証券投資の日



◆ 参加人数

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
セルサイド	124	207	192	174	157
バイサイド	55	66	92	88	68
発行体（事業会社、地方公共団体、金融機関等）	58	83	155	181	140
業界団体	45	23	29	13	8
中央行政	12	15	16	52	32
シンクタンク	10	18	20	13	22
格付機関・外部レビュアー	14	20	20	18	13
情報ベンダー	7	4	14	7	5
メディア	11	16	33	22	15
駐日外国公館	0	16	9	18	17
その他	74	83	110	140	132
合計	410※1	551※1 (日本人483) (外国人68)	690※1 (日本人617) (外国人73)	726※2 (日本人420) (外国人316)	609※3 (日本人457) (外国人152)

(※1 実会場参加者ベース)

(※2 実会場・オンライン登録者ベース)

(※3 オンライン登録者ベース)

1. カンファレンス 参考

【2017年】



“グリーンbond及び社会貢献債市場の発展-アジアの展望”

日 時：2017年11月2日（木）

場 所：虎ノ門ヒルズ森タワー5Fホール

参加者：アジアの発行会社、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関、
報道機関等 約400名

【2018年】



“グリーンbond及びソーシャルbond市場の発展-アジアの展望”

日 時：2018年12月11日（火）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約550名（昨年比約40%増）

【2019年】



“日本とアジアのグリーン、ソーシャル及びサステナビリティbond市場の発展”

日 時：2019年10月9日（水）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約700名（前年比約30%増）

【2020年】



“コロナ禍において重要性を増す持続可能性に貢献する債券市場の発展－世界及び日本の展望”

日 時：2020年11月13日（金）

場 所：太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによるウェビナー

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、在日大使館職員、
その他の関係機関、報道機関等 約500名（うち430名オンライン）（前年比約30%減）

2. 研修コース

ようし
10/4は
証券投資の日



グリーン／ソーシャルボンド・カンファレンスの前日には、発行体を対象としたセミナー「エグゼクティブ研修コース」を開催した。

日程	2021年11月11日（木）17時00分～19時00分（日本時間）
タイトル	エグゼクティブ研修コース-Executive Training Course-
会場	ZOOMによるウェビナー
主催	国際資本市場協会（ICMA）
トレーナー	国際資本市場協会（ICMA） サステナブルファイナンス ディレクター シモーネ・ユータマーク 氏 プログラムコーディネーター レイモンド・シーガー 氏
参加者	発行体、証券会社、外部レビュアー、投資家 等 計132名

プログラム

17:00	歓迎の挨拶 ICMA サステナブルファイナンス ディレクター シモーネ・ユータマーク 氏
17:05	パート1：クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック トレーナー：ICMA サステナブルファイナンス ディレクター シモーネ・ユータマーク 氏
17:30	パート2：グリーン／ソーシャルボンド原則アップデート、関連ドキュメント ・グリーン／ソーシャルボンド原則アップデート ・関連ドキュメント ・発行体ケーススタディ トレーナー：ICMA プログラムコーディネーター レイモンド・シーガー 氏

2. 研修コース 当日の様子

Transition Finance – growing focus

- Climate Transition Finance Handbook published in December 2020
- Provides additional guidance for issuers seeking to utilise green bonds, sustainability bonds or sustainability-linked bonds towards the achievement of their climate transition strategy
- Where a transition may have negative impacts for workers and communities, issuers should outline how they have incorporated consideration of a 'just transition' into their climate transition strategy, and may also detail any 'social' expenditures that are considered relevant within the context of transition finance
- New logo: 







パート 1



Highlights of the UoP Sustainable Bond Market

- EC SURE, Oct 2020, largest ever social bond - €17bn, *€90bn issued in 6m
- Malaysia – April 2021, 1st Sovereign Sustainability Sukuk
- Bondrola, Feb 21, largest ever hybrid - €2bn
- BioC – Biodiversity Themed GR, RM915bn & MOP11bn, Sep 21
- World Bank (IBRD) largest issuer
- Hydrex – largest Japanese issuer @ US\$1.3bn, and US\$2.75bn Sust B, Mar 21
- EU largest ever green bond debut, Oct 2021 – €0.2bn
- CTP – 5 trades in 2020/21 for total of €3.55bn



パート 2

